

木村俊介 Concert



睦び月の宴 其ノ二 ~冬の怪・寒の快~

ご好評を頂きました前回の『睦び月の宴 其ノ一』では、おめでたい予祝芸能を取り上げました。

其ノ二となる今回はガラッと趣向を変えて「冬の怪談」をお届けします。

大寒近いこの時期に背筋も凍る怪談？と思われるかもしれませんが、

優れた怪談はほんのり心を温めてくれるもの。

坂田美子さんの艶やかな琵琶語りと、稻葉美和さんの心に沁み入る箏の音に誘われ、

加藤木朗さん演じる異界の者が立ち現れます。

怪しく切ない絵草紙の世界へ。いざ。



笛・三味線 木村俊介

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民俗芸能の旋律・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸30カ国以上の音楽祭に招聘出演している。

浦和高校卒、さいたま市在住。

《木村俊介 website》 <http://insho.kmlw.net>

- ’15年 ◆演劇俱楽部「座」公演『ひやめし物語・ちゃん』(壇晴彦演出)にて 音楽を担当。
- ◆坂東玉三郎演出・出演、鼓童『アマテラス』(大阪松竹座)に楽曲・詞を提供。
- ’16年 ◆鼓童・小島千絵子氏をゲストに自主公演『音のいろ・舞のうた』開催。
- ’17年 ◆ロシア『少数民族伝統芸能祭』に出演。
- ’18年 ◆多彩なゲストを迎へ、音楽活動30周年記念コンサート『きせき』(さいたま芸術劇場・音楽ホール)を開催。CD『きせき』リリース。
◆慶州『万波息笛 世界“笛”フェスティバル2018』(韓国)出演。
- ’19年 ◆カヤグムの朴順雅氏をゲストに自主公演『半夏の夢のひらく頃』開催。
◆JAPAN HOUSE LONDON(イギリス)にて、ピアニストKit Downes氏とDUOコンサート開催。

ゲスト



琵琶・歌 坂田美子

1978年より十年間、琵琶を半田淳子に師事。1994年より観世流謡曲を浅見重好に師事。琵琶、歌、語りの可能性を求める、現代語を取り入れた語りものなど様々な創作曲を発表。ソロのほかにオーケストラや他楽器との共演、神津善行による「六華仙」へ参加するなど、国内外での演奏多数。小椋佳、富田勲、ヤドランカなど様々なアーティストの公演やCD制作に参加。テレビ、ラジオの出演、劇場や映画音楽の録音にも参加。NHKTV『新日本紀行ふたたび』のテーマソングの作詞と歌を担当。CD『琵琶うたものがたり』『壇ノ浦』他。

第四回日本琵琶楽コンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。

特別出演



舞踊・大道芸・太鼓 加藤木朗

秋田県生まれ。長野県阿智村在住。
日本各地に伝わる祭り芸能や伝承芸能を、現代を生きる自己の表現とし、歌い踊ることを舞台という時空間における祭祀と位置づける。発せられる音や動きは、ふるさとを想い、人々の幸せを願い、祈り捧げる舞台芸能として構成し国内外で発表している。土を耕し米を作りながら芸能の素になっている身体遣いを身に付け、大地との結び付きを強めるため、狩猟もしている。
主宰する「和力」にて、アメリカ・旧ユーゴスラビア諸国・ブラジル・韓国などで公演。



箏(二十絃・十七絃) 稲葉美和

四歳より生田流箏曲を学ぶ。生田流箏曲・地唄三絃を矢崎明子に、十七絃箏を菊地悌子に師事。JAZZ理論・作曲理論等を学び、あらゆる楽器とのコラボレーションも多数。オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、坂田美子と共に多くの作曲・編曲を手がけるNHKTV「アジア・知られざる大自然」、NHKスペシャル「大地の子を育てて」(2005年日本賞グランプリ受賞番組)を始め、TV番組等の音楽制作や小椋佳コンサートツアーに参加するなど、個性的な箏の音で精力的に活動中。

CD「あおのむこう」「桜の咲くころに」「海を織る」他。
H.24年宮城道雄記念コンクール作曲部門第一位。



[企画・構成・演出] 木村俊介

[音響] 金曾武彦

[チラシデザイン] maiko



全席自由 ¥4,000 (当日¥4,500)
高校生以下 ¥2,000 (当日¥2,500)
小学生以下 ¥1,000



柏屋楽器フォーラムホール (5階)

浦和区岸町7-1-9 フォーラムビル5階 tel. 048-829-2360
JR浦和駅西口より徒歩7分



※駐車場はありません。近隣コインパーキングをご利用ください。

※子供向けの内容ではありませんが、未就学児も入場可能です。(膝上無料)

※定員140名 要予約

ご予約のない場合、入場できない場合があります。

<申込> 1/24チケット申込と明記の上、お名前・ご住所・電話番号・人數を下記宛にメール又はFAX(9~19時)でお知らせください。チケットと振込用紙を郵送致します。

● Email insho@sky.plala.or.jp (木村)
● fax 048-833-7634 (9~19時/木村)